

《総合テーマ》

ピアメディエーションの原点に学び、今後の発展を展望する
＝ 対話型紛争解決の新たな可能性を探る ＝

○内容

昨年は、英国、NZ の先駆的事例に学ぶ国際 WS でしたが、本年は豪州で 30 年以上トレーナーとして活動してこられたフレッド・スターン氏を講師に迎え WS を開催します。氏は、学校だけでなく、職場紛争、家族法紛争、住宅/テナント紛争などへの対応に豊富なご経験を積んでこられました。その研修プログラムの作り方や当事者への実践的な支援のあり方、また実施の成果についてもご教示いただきます。日本においても職場、地域に広がりを見せ始めたピアメディエーションの実践研究発表も行います。今後のピアメディエーション発展とビジョンに対し、またのそれに向かう皆様方の実践活動に対する多くのヒントが得られることを期待しています。

○日程： 9 月 23 日（祝）

第一部 9:30-12:30

ピアメディエーション の児童生徒へのワークショップの実際

-豪州のピアメディエーション会による講習-

講師：フレッド・スターン氏（RMAB 認定調停機関トレーニングコース講師）

第二部 14:00-16:00 研究発表 「職場における紛争解決」

発表者：新目真紀氏（職業能力開発総合大学校教授）

水野修次郎氏（ピアメディエーション学会代表理事）

第三部 16:00-17:00 実践発表

○形式 会場：英風高等学校（定員 50 名） & オンライン形式（定員なし）

○参加費 3,000 円（学会員）、5,000 円（一般）

○特 典

* フレッド・スターン氏が小学校・中学校用で実際に使用しているワークシートが貰えます。

* 関連団体（人間関係学会、ピアサポート学会、日本キャリアカウンセリング研究会）の会員、

幼・小・中・高校の教職員、新規学会入会者も 3,000 円で OK！

新規会員募集中！

9 月 23 日 午前 9 時半～12 時半(3 時間)

ピアメディエーション・ワークショップ

フレッド・スターン(Fred Stern)、R.M.A.B. (認定調停者認定機関)-専門的な調停トレーニングコース講師。職場紛争、家族法紛争、住宅/テナント紛争、学校ベースのピア調停プログラム。紛争管理の問題に合わせた企業プログラム、困難な人々との紛争コーチング/対処コース、2 日間のメンタルヘルス応急処置トレーニングコース(成人および青少年コースが利用可能)、ティーンのためのメンタルヘルススクールプログラムを提供しています。1990 年以來、メディエーターおよびトレーナーとして、紛争解決および企業、家族、青年、およびさまざまな個人やコミュニティグループとのトレーニングの分野で豊富な経験を積んできました。

フレッドは、紛争解決、特に調停の分野に豊富な経験があります。また、フレッドは、プライベートコンサルタント業務において、教師、学生、コミュニティワーカー、ソーシャルワーカー、ユースワーカー、医療専門家、聖職者、ビジネスマンなど、幅広い職業から 2000 人以上の働く人と数千人の子供を訓練してきました。



このワークショップは、ピアメディエーション分野で 30 年以上のトレーナーとして活動している経験豊富なオーストラリア人トレーナーである**フレッド・スターン氏**が主導します。このワークショップでは、学校でのピアメディエーションの実施と、このプログラムが生徒に豊かなライフスキルを提供するだけでなく、学校内で問題を抱える可能性のある他の生徒を支援するために、生徒をリソースにするための実践的な支援の提供方法について説明します。このワークショップに参加すると、このような研修プログラムがどのように構成して、実施できるかを理解できます。この研修プログラムを導入することの難しさだけでなく、実施するとどのような良い結果が生じるかを理解することができます。また、ピアメディエーションを学校に導入するためのいくつかのヒントについても説明します。

プログラムの目的

- ・児童・生徒に生活の中での葛藤の認識と、それに他たいしてどのように対応できるかを教える。
- ・人と人との違いに感謝する。
- ・自分の葛藤や仲間の問題に関連して、リスニング、批判的思考、問題解決などのスキルを生徒に教えることができる。

- ・このトレーニングを受けた児童・生徒が葛藤を経験している他の学生に対して、自信をもってはっきりと話す能力を身に付けて、これらの児童・生徒に権限を与えるプロセスを提示します。

- ・教師、管理者、サポートスタッフは、児童・生徒が自分の問題を解決するためにより大きな責任を引き受けることを学ぶことで、児童・生徒の問題に対応する学校の能力を高めるだけでなく、教師、管理者、サポートスタッフは、規律を守ることに腐心することなく、規律よりも教育や学問の問題に集中できるようになる。

ピアメディエーションを導入する理由

- ・仲間はお互いを信頼します。
- ・コミュニケーションはより効果的になります。
- ・学校の人間関係は快適になります。
- ・ピアが理解するネットワークを構成できます。
- ・お互いの世界観を理解します。
- ・ピアは議論の限界を理解し、快適な議論を維持できます。
- ・多くの場合、児童・生徒は教師やカウンセラーよりもピア（仲間）に対して正直です
- ・ピアはプロセスを通じて支援することができるために、規律を押し付ける「権威」として見られません。
- ・論争者と仲介者の両方に権限を与えることができますので、コンフリクトの解決として利用できます。
- ・ポジティブなロールモデル
- ・ピア（仲間）の話を聞くようになる。

フレッドは 1990 年代初頭にピアメディエーション資料を作成および設計しました。多くの学校は、より包括的で安全な空間にするために、このトレーニングを採用しました。

・www.conflictsolvers.com.au

*** このワークショップを受講すると、日本語版でフレッド・スターン氏が使用している小学校用、中学校用の実際のワークシートを手に入れることができます。**